

議会だより

12月定例会

町議会12月定例会は、12月12日から25日まで開かれました。22議案を審議、可決しました。主な議案は、平成元年度の町一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計それぞれの決算認定、ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の制定などです。請願は3件、陳情は2件提出され、すべて採択、「これらに基づき意見書が4件、関係機関に提出されました。一般質問には6人の議員が立ち、大野町商店街の活性化、中央公民館、交通安全対策、道路問題、教育、福祉などについて、町長にたずねました。

日程

12月12日(水) 会期の決定、行政報告と議案の上程、議案の説明・質疑・討論・採決(議案50号~54号) 議案の説明・質疑・討論・委員会付託(55号、59号~62号) 請願・陳情の上程・質疑・委員会付託
12月13日(木) 議案の説明・質疑・討論・採決(56号~58号)
12月14日(金) 総務文教委員会
12月17日(月) 産業建設委員会
12月18日(火) 厚生企業委員会
12月19日(水) 一般会計予算審査特別委員会
12月20日(木) 一般質問
12月25日(火) 委員長報告・質疑・討論・採決(55号、59号~71号) 請願・陳情審査報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告

平成元年度一般会計決算認定 町教育委員の任命など 22議案を審議・可決

議案

■専決処分の承認(議案第50号)
平成2年度黒崎町一般会計補正予算(第4回)：501万円を増額し、総額55億8552万4千円に。参議院議員補欠選挙の実施によるもの。

■黒崎町固定資産評価審査委員会委員の選任(51、52)
村井利幸氏(木場下・62歳)と木口光之氏(八区・55歳)を町固定資産評価審査委員会委員に再任することに同意。

■黒崎町教育委員会委員の任命(53)
青木昭平氏(興野2・61歳)

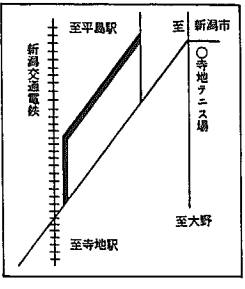
■平成2年度黒崎町国民健康保険特別会計補正予算(第3回)(58)
■平成2年度黒崎町老人保健特別会計補正予算(第2回)(59)

■平成2年度黒崎町水道事業会計補正予算(第2回)(70)
■平成2年度黒崎町ガス事業会計補正予算(第2回)(71)

■町道認定と改善に関する請願書(請願第14号)
提出者 寺地下自治会 会長 真柄清作ほか7名

請願

寺地電鉄信号から町道寺地下18号線に至る東側電鉄の沿線道路の改善と付帯排水溝に対する環境美化促進の改善対策に、道路とした持出分を無償で町当局へ地権者全員が寄付し、その道路を町道に認定改善していただきたく請願。 ※採択。



■義務教育費国庫負担制度の現行制度の維持に関する請願

を黒崎町教育委員会委員に任命することに同意。

■黒崎町区域内に新潟市食肉センター(仮称)を設置することについての協議について(54)
新潟市が本町の大字大瀧地区内に設置する新潟市食肉センター(仮称)について次のとおり協議する。▼設置の目的：食肉に供するために行う獣畜の処理の適正を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与するため。▼住民の使用関係：黒崎町住民のこの施設の使用については、法令に定めるもののほか、新潟市の条例(54)

■黒崎町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の制定について(55)
ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため、制定するもの。

■平成元年度黒崎町一般会計歳入歳出決算認定(56)
歳入57億6872万9532円、歳出55億4610万2288円、2億2662万円

■平成元年度黒崎町老人保健特別会計歳入歳出決算認定(58)
歳入12億493万914円、歳出11億835万3794円

■平成2年度黒崎町水道事業会計補正予算(第1回)(61)
■平成2年度黒崎町ガス事業会計補正予算(第1回)(62)

書(請願15)
提出者 新潟県教職員組合西蒲原郡燕市支部 支部長 北条徹ほか110名
義務教育費国庫負担制度の対象から事務職員と学校栄養職員の人件費を除外することは、学校運営の一体性を損うばかりでなく、各都道府県の財政事情によって差が生じるなど、義務教育に及ぼす影響がはかりしれないため、次のように請願する。
義務教育費国庫負担制度を堅持し、同制度の基本である「教育の機会均等とその水準の維持向上をはかる」ために、平成3年度予算編成に向けては、事務職員と学校栄養職員の人件費を同制度の適用対象から除外しないよう、意見書を関係行政官庁に提出していただきたい。

※採択。この請願に基づき、意見書が関係機関に提出された。

■白内障人工水晶体(眼内レンズ)の保険適用などに関する請願書(請願16)
提出者 新潟県生活と健康を守る会連合会 会長 田中雄次ほか662名

1985年に厚生省は一般病院での白内障手術に人工水晶体の使用を許可したが、健

陳情

■生徒急減期における私学の発展のために、私学助成の抜本的増強をもとめる意見書採択にかんする陳情(陳情8)
提出者 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 坂東克彦

私学は高校教育の重要な一翼を担っているが、学費が公立高校の約4倍に達している。今年度から中学生が年々減少していく生徒急減期に入り、県内でも6年後には約7千人も減少する勢いである。こうした時期に学費問題の解決を

7244円を平成2年度に繰り越した。

■平成元年度黒崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(57)
歳入10億778万0983円、歳出9億6407万9802円、4000万円を基金に繰り入れ、7380万円を平成2年度に繰り越した。

■平成元年度黒崎町老人保健特別会計歳入歳出決算認定(58)
歳入12億493万914円、歳出11億835万3794円

■平成2年度黒崎町水道事業会計補正予算(第1回)(61)
■平成2年度黒崎町ガス事業会計補正予算(第1回)(62)

はからないと私立高校が存続の危機に立たされる。しかし教育条件を思いきって向上させる絶好の機会でもあるので、「二分の一助成」などの私学助成政策の実現のため、次のことを陳情。
貴議会の名において、地方自治法第九十九条第二項の規定により、国および新潟県にたいして、「生徒急減期における私学の発展のために、私学助成の抜本的増強をもとめる意見書」の提出を行っていただきたい。

※採択。この陳情に基づき、意見書が関係機関に提出された。

■「子どもの権利条約」の早期批准を求める陳情書(陳情9)
提出者 「子どもの権利条約批准促進にいがたの会」代表者代表世話人 成嶋隆

「子どもの権利条約」が速やかに批准されるとともに、批准にともなう諸法規の改善が完全に実施されるよう、政府に対して意見書を提出されることを陳情。
※採択。この陳情に基づき、意見書が関係機関に提出された。

円で2139万7120万円を平成2年度に繰り越した。

■平成2年度黒崎町一般会計補正予算(第5回)(59)
6841万5千円を増額し総額56億5393万9千円に。
◎補正された主なもの
教育施設整備基金積立金5000万円増、町債償還金利息増(元年度借入分)950万円、河川敷公園工事費増1000万円、緒立2号線用地購入土地開発基金振替更正費2100万5千円、道路橋梁新設改良費のうち補助事業等確定による用地費減4320万4千円

■平成2年度黒崎町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)(60)

■平成2年度黒崎町水道事業会計補正予算(第1回)(61)
■平成2年度黒崎町ガス事業会計補正予算(第1回)(62)

■平成2年度黒崎町一般会計補正予算(第6回)(67)
5609万5千円を増額し総額57万1003万4千円に。

一般質問

(要旨)

大野町商店街の活性化の考え方はフォーラム等での提言を検討する

A議員 大野町商店街の活性化についての考え方と、それにもとづく実施について町長 商工会とタイアップしながら、商店経営の明日を考えるとというテーマで中小企業

町道仲町〜新田町線の整備は側溝整備はやるなら継続事業

A議員 町道仲町〜新田町線の整備について ①町道仲町〜新田町線の側溝の整備について ②町道仲町〜新田町線の消雪パイプの設置について ③大野都市下水路大野3号幹線完成にともなう周辺排水路の整備について。
町長 ①側溝整備は両側整備

各町道のグレーチング箇所の整備を山田立三三三線が早急な整備を要する

A議員 各町道のグレーチング箇所の実態と整備を町長 23か所ある。早急に整備を要する場所は、山田立三三三線(立三小学校前)から山

選挙公約の道路整備はいつ実施か地元と妥結した段階で実現したい

A議員 町長選挙に公約した越後大野駅と鳥原新地の太田

綿屋さん間の道路整備について、いつ実施するのか。